



第32号

2021年秋号

丹波市農業委員会だより



【週末は農業女子！（山南町谷川 加藤美矢子さん）】

- ◆丹波市農業委員会総会・研修会の開催・・・・・・・・・・・・ 2ページ
- ◆農地パトロールの実施について・・・・・・・・・・・・・・ 2ページ
- ◆あなたのまちの農業委員・農地利用最適化推進委員・・・・ 3ページ
- ◆地域からのたより・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4～5ページ
- ◆玄米及び精米に関する食品表示のルールが変わりました・ 6ページ
- ◆相続による農地取得についてのQ & A・・・・・・・・・・・・ 7ページ
- ◆農業者年金は積立年金・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7ページ
- ◆新たな特産品を目指して・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 8ページ

丹波市農業委員会 総会・研修会の開催

七月一日に令和三年度第十八回丹波市農業委員会総会を開催しました。現在の丹波市農業委員会委員は農業委員二十四名、農地利用最適化推進委員二十五名の計四十九名で活動しております。

総会では、今年度の事業計画や部会の構成、各種委員会の委員等を決定しました。総会後は、日頃地域で活躍する農業委員、農地利用最適化推進委員、各一名から活動事例発表と、コンプライアンスについての研修会を開催しました。

活動事例発表では、水上地域生郷地区担当の徳田義信委員から「水上地域委員会の取り組み」と題し、農地法に関する申請を受けた際の留意点について発表がありました。

「特に転用案件では事業者に対し、近隣住民、自治会等に事業計画が丁寧に説明されているかを確認しています。」と、

報告がありました。

続いて、青垣地域神楽地区担当の安達謙蔵推進委員から「農地利用最適化推進委員としての取り組み」と題し、自身の考える農地利用の最適化について発表がありました。

「日頃から農地の状態を注意深く観察し、近隣と比べて農作業が遅れていないか、いつもより管理が悪くなっていないかなど、耕作放棄を未然に防ぐための活動が必要です。」と、報



(総会の様子)

告がありました。

コンプライアンス研修では足立正典副会長から、法令違反とならないように活動することなど、農業委員、農地利用最適化推進委員として活動する中で、特に注意すべき点について説明を受けました。

農地パトロールの 実施について

毎年行っております農地パトロールを八月十八日から三十一日にかけて、市内全域で実施しました。農地の利用状況・転用許可後の状況の確認、さらに耕作放棄地の調査等を目的としています。

パトロールの結果、必ずしも山間部だけでなく農振農用地区域内においても遊休農地が増加しています。相続されず放棄地となる場合や高齢化など、理由はさまざまです。

遊休農地として判断された農地については、当該農地所有



(農地パトロールの様子)

者に対し、農地利用最適化推進委員や農業委員による訪問指導、今後の利用意向調査を行います。遊休農地は、農地集積の支障となるだけでなく、病虫害発生を助長し、有害鳥獣の隠れ場所になるなど農業振興に悪影響をおよぼします。

農地は、大切な地域の財産であり、環境にも大きく影響を与えます。

農地について、将来の不安やお困りの点については、地元の農業委員や農地利用最適化推進委員にご相談ください。

あなたのまちの農業委員・農地利用最適化推進委員

地域	氏 名	電話番号	住所	担当地区	区分
柏原地域	古 倉 一 郎	7 2 - 0 1 9 1	柏原町小南 4 番地	柏 原	農 業 委 員
	塩 見 正	7 3 - 0 5 0 8	柏原町下小倉 1402番地		推 進 委 員
	矢 本 規 夫	7 2 - 0 9 7 8	柏原町田路 605番地	新 井	農 業 委 員
	徳 田 悦 郎	7 2 - 0 8 8 1	柏原町母坪 467番地 1		推 進 委 員
氷上地域	金 子 隆 司	8 2 - 1 3 8 9	氷上町常楽 992番地	中 央	農 業 委 員
	池 田 芳 美	8 2 - 1 4 4 0	氷上町西中 424番地 1		推 進 委 員
	徳 田 義 信	8 2 - 0 5 1 2	氷上町稲継 239番地	生 郷	農 業 委 員
	池 上 一 幸	8 2 - 6 3 5 9	氷上町石生 912番地		推 進 委 員
	足 立 正 典	8 2 - 1 6 5 9	氷上町上新庄 1096番地	葛 野	農 業 委 員
	山 口 修 作	8 2 - 8 2 4 8	氷上町下新庄 690番地 2		推 進 委 員
	山 本 浩 子	8 2 - 0 1 8 4	氷上町油利 104番地 2	沼 貫	農 業 委 員
	泉 山 數 年	8 2 - 1 2 6 0	氷上町稲畑 1071番地 1		推 進 委 員
	芦 田 義 彦	8 2 - 7 1 3 7	氷上町鴨内 64番地 1	幸 世	農 業 委 員
	足 立 康 裕	8 7 - 0 5 8 5	青垣町西芦田 963番地		農 業 委 員
	田 中 保 夫	8 2 - 2 8 0 4	氷上町井中 656番地 1		推 進 委 員
	足 立 篤 夫	8 7 - 1 3 7 1	青垣町小倉 566番地		農 業 委 員
青垣地域	西 田 明 弘	8 7 - 0 6 2 0	青垣町沢野 186番地 1	佐 治	推 進 委 員
	足 立 俊 哉	8 7 - 0 7 2 0	青垣町栗住野 511番地		農 業 委 員
	足 立 義 行	8 7 - 1 3 1 7	青垣町口塩久 266番地 6	芦 田	推 進 委 員
	足 立 信 昭	8 8 - 0 1 8 8	青垣町中佐治 671番地 1		農 業 委 員
	安 達 謙 藏	8 7 - 5 7 2 7	青垣町小稗 427番地	神 楽	推 進 委 員
	足 立 靖	8 8 - 0 2 6 5	青垣町山垣 912番地		農 業 委 員
	婦 木 克 則	7 4 - 0 8 2 0	春日町野村 83番地	黒 井	推 進 委 員
春日地域	三 原 博 之	7 4 - 0 2 6 8	春日町黒井 2606番地		農 業 委 員
	荻 野 隆 太 郎	7 4 - 1 6 0 7	春日町多田 674番地	春 日 部	推 進 委 員
	三 村 俊 一	7 4 - 1 7 3 8	春日町多利 493番地		農 業 委 員
	田 川 良 一	7 5 - 1 3 8 9	春日町鹿場 48番地 1	大 路	推 進 委 員
	細 見 芳 郎	7 5 - 1 5 5 5	春日町栢野 661番地		農 業 委 員
	近 藤 眞 治	7 5 - 1 5 8 0	春日町棚原 1307番地 1	国 領	推 進 委 員
	細 見 滋 樹	7 5 - 0 2 8 1	春日町国領 1571番地		農 業 委 員
	臼 井 光 茂	7 3 - 0 7 8 6	春日町新才 240番地	船 城	推 進 委 員
	善 積 久 行	7 4 - 1 4 1 3	春日町長王 696番地		農 業 委 員
	野 垣 克 已	7 7 - 0 3 5 2	山南町太田 466番地	上 久 下	推 進 委 員
山南地域	森 田 和 志	7 8 - 0 6 4 0	山南町下滝 138番地 2		農 業 委 員
	田 中 耕 作	7 7 - 0 2 6 4	山南町谷川 1457番地	久 下	推 進 委 員
	村 上 良 之	7 7 - 0 7 1 5	山南町金屋 138番地 2		農 業 委 員
	和 田 憲 治	7 7 - 1 7 8 4	山南町岩屋 62番地	小 川	推 進 委 員
	後 藤 康 介	7 7 - 2 2 8 8	山南町井原 283番地 1		農 業 委 員
	岸 本 好 量	7 6 - 0 6 1 0	山南町和田 1024番地 3	和 田	推 進 委 員
	藤 原 常 夫	7 6 - 1 8 4 9	山南町西谷 215番地		農 業 委 員
	高 見 由 行	8 6 - 0 4 7 0	市島町中竹田 699番地	竹 田	推 進 委 員
市島地域	大 野 優	8 6 - 0 0 8 8	市島町下竹田 2038番地 3		農 業 委 員
	橋 本 慎 司	8 5 - 2 7 6 6	市島町下鴨阪 271番地	前 山	推 進 委 員
	荻 野 晴 久	8 5 - 0 5 8 7	市島町上竹田 168番地		農 業 委 員
	荒 木 嘉 信	8 5 - 1 5 7 1	市島町梶原 666番地	吉 見	推 進 委 員
	吉 見 茂	8 5 - 1 6 3 8	市島町上垣 655番地 1		農 業 委 員
	荻 野 喜 昭	8 5 - 1 7 9 1	市島町北奥 104番地	鴨 庄	推 進 委 員
	杉 山 重 利	8 5 - 1 2 9 8	市島町酒梨 695番地 1		農 業 委 員
	田 中 喜 義	8 5 - 1 3 5 6	市島町戸坂 374番地	美 和	推 進 委 員
					農 業 委 員

地域からの たより



未来の農業者育成に向けて

氷上町石生

氷上回廊水分けフィールドミュージアム

副館長 菊川 裕幸

氷上回廊水分けフィールドミュージアムの新企画として、今年度から丹波市立農の学校を運営している株式会社マイファームと連携した「農業体験教室」をスタートしました。農業体験教室は小学生～中学生を対象として、全六回のプログラムを体験していただいています。当館近辺の休耕地を借り受け、「水分けふぁーむ」と名付け、体験農場として活用しています。

農業体験教室の第一回は五月十五日に開催し、夏野菜の定植と田植えを行いました。初めて田植えをした参加者もいれば、植え付ける野菜の名前をほとんど知っている強者の参加者もいましたが、みんなで協力し合いながら、無事



(第一回 農業体験教室)

に作業を終えることができました。

第二回は六月十二日に開催し、地域特産品の丹波黒大豆や丹波大納言小豆の植え付け、夏野菜の管理を行いました。また、水分けふぁーむの農産物は無農薬・無化学肥料で栽培しています。そのため、農場内に設置された二つのビオトープでは、多様な生き物が育まれています。その観察会も随時実施しています。

最終回は収穫物の試食会を

予定しています。全六回の活動終了時には、農産物とともに、参加した皆さんが一回りも二回りも大きくなっていることを願っています。

「氷上回廊水分けフィールドミュージアムホームページ」



少しずつ、前進していきます

春日町多利

宮東農園 宮東 典正

平成二十九年四月に家族で丹波市に移住しました。

移住して三年間は、丹波市の「半農半公」制度で丹波市役所の農業振興課に勤務しながら、丹波市内の様々な農家さんのもとで農業研修を受けさせて頂きました。

市役所の幅広いネットワークのおかげで、自分自身の繋がりではお会いしたり、農業を教え

て頂く機会が絶対に無いと思われる農家さんからもご指導頂け、「丹波市ではどのような農産物が栽培できるのか」、「どのような作物の栽培が適しているのか」、「どのような農家さんがどのような生計を立てているのか」等も勉強させていただき、本当に自分の財産になっております。

農業というのは、机上の勉強だけでは限界があり、結局、自分でやってみないと分からない面が多分にある中、三年間も実践的な研修の期間を頂けたことに感謝しております。

このような貴重な経験を積んで、令和二年四月に独立就農しました。三年間の実践経験の中から、自分に合っていると思われる農作物（大根、人参、小豆、玉ねぎ、黒豆等）に絞り、農業経営を開始しておりますが、まだまだ失敗の連続の日々です。失敗の中から学習を重ね、成長し、地域の担い手にふさわしい農家になれるように、頑張ってい

たいと思いますので、今後とも、よろしくお願いいたします。

「宮東農園ホームページ」



（枝豆の収穫作業風景）

温かい地元の皆さまと共に

山南町谷川

加藤 幸男

私は、昭和四十五年に起業し、五十周年を迎えた会社の経営を息子に移譲したことを

機に、昔からの夢であった農地付きの古民家暮らしを昨年から妻、娘と力を合わせて始めました。

田・約三反、畑・約四畝の農地を今までしたことのない農作業に雑草、鳥獣、天候との戦いの中で『すること』と『しなければならぬこと』の多さに戸惑いながら、日々の中で地元の農会長さんの温かいご指導とご協力のおかげで今年から稲作と畑作に精を出しているところです。

農作業をしていると前の道を通られるご近所の皆さまが笑顔にて励ましてくださることに元気を頂き、娘共々にこの地で農業ができることに大いに感謝をしているところでもあります。

去年は竹の子、柿、栗、イチジク、ミカン等、多くの果実を収穫することができ知人、友人たちにもお配りして大いに喜んで頂きました。

これも地元の農会長さんを

始め、温かく見守り励まして頂いているご近所の皆さまのおかげであると本当に感謝致しております。ありがとうございます。

昨年より娘が書籍やインターネットで調べながら果樹の剪定をしたり、地元の皆さまのご指導により少しずつ、ジャガイモ・大根・ニンジン・トウモロコシ・丹波黒豆等々の植え付けを行い、現在は、順調に生育しているところであり収穫を楽しみにしております。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。



（畦草刈りの作業風景）

玄米及び精米に関する食品表示のルールが変わりました

主な改正ポイントは、以下の3つです。

- 1 農産物検査による証明を受けていない場合であっても、**産地、品種及び産年の根拠を示す資料の保管を要件として、当該産地、品種及び産年の表示が可能**となりました。
- 2 産地、品種及び産年の**表示事項の根拠の確認方法**について、農産物検査証明による等の表示が可能となりました。
- 3 生産者名等、**消費者が食品を選択する上で適切な情報**を一括表示枠内に表示できるようになりました。

令和3年6月30日までの玄米及び精米の食品表示と改正後（令和3年7月1日から）の表示例

改正前（令和3年6月30日まで）

農産物検査証明がある玄米・精米以外は、産地、品種及び産年の表示はできませんでした。

〈農産物検査による証明がある場合の表示例〉

原料	産地	品種	産年
玄米	単一原料米 兵庫県	コシヒカリ	3年産

〈農産物検査による証明がない場合の表示例〉

原料	産地	品種	産年	使用割合
玄米	未検査米 国内産			10割

改正後（令和3年7月1日から）

産地、品種及び産年の全部又は一部を表示する場合、それらの表示が間違いないことを示す根拠資料の保管が必要です。

	産地	品種	産年
原料 玄米	単一原料米 兵庫県	コシヒカリ	3年産

農産物検査証明による

表示事項の根拠の確認方法は、任意表示ですが、表示することが推奨されます。

	産地	品種	産年
原料 玄米	単一原料米 兵庫県	コシヒカリ	3年産

種子の購入記録及び生産記録による確認

※詳しい内容は、消費者庁のホームページをご覧ください。

<https://www.caa.go.jp/notice/entry/024321/>

消費者庁 玄米及び精米 食品表示改正

検 索



相続による農地取得についてのQ&A

Q. 農地を取得するには許可がいると聞いたけど、相続で取得する場合でもいるのかな？



A. 農地の権利を相続等（遺産分割・包括遺贈を含む）によって取得したときには、農地法の許可は不要ですが、「農地法第3条の3の規定による届出書」の提出が必要です。

Q. 許可ではなく、届け出が必要なんだね。しかし、相続で取得したものの遠方に住んでいて耕作や管理ができないけれど・・・。



A. ご希望により、農業委員と農地利用最適化推進委員が地元で農地の借り手を探すお手伝いや、農地の管理についてのご相談に応じます。担当委員については、3ページに掲載しています。



A. 今後、不動産（農地等）の相続について、令和6年度までに相続登記が義務化されます。義務化されると、不動産を取得した相続人は、自己のために相続の開始があったことを知り、かつ、当該所有権を取得したことを知った日から3年以内に、相続登記の申請をしなければなりません。正当な理由がないのにその申請を怠ったときは過料の罰則があります。なお、相続が開始した旨及び自らが相続人である旨を申し出た場合は義務を履行したものとみなされます。

※詳しい内容は、法務省のホームページをご覧ください。

<http://www.moj.go.jp/content/001347356.pdf>

法務省 相続登記 義務化

検 索



農 業 者 年 金

は

積 立 年 金

安心で豊かな老後のために農業者年金に加入しましょう！

農業者年金加入条件

次の要件を満たす方はどなたでも加入できます。

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事（配偶者・後継者も可）
- ③ 国民年金第1号被保険者

農業者年金のメリット

- ① 保険料は全額が社会保険料控除され節税になります
- ② 政策支援加入で国庫補助が受けられます
- ③ ライフステージに応じて保険料を変更できます
- ④ 確定拠出型のため安心な年金制度となっています

対象は認定農業者、認定新就農者で青色申告をしている人。
このほか、上記の家族経営協定を結んだ配偶者や後継者も対象になります。
収入が多い時は保険料を増やせば節税メリットも拡大します。



新たな特産品を目指して

丹波ホオズキ研究会
代表 山本 賢司

丹波ホオズキ研究会では、お盆の切り花として用いられるホオズキを市内の切り花農家3名で、約15アール生産しています。花市場からの要望により数年前から栽培を始めましたが、市場単価が高く、安定しており、露地・ハウスの両方で栽培が可能で、上手く作ることができれば経営的に魅力のある作物だと期待しています。

ホオズキにはさまざまな系統がありますが、丹波ホオズキ研究会では丹波大実ホオズキと名古屋大実ホオズキの2系統を栽培しています。丹波大実ホオズキの名前の由来は明らかになっていませんが、私たちが暮らす「丹波」の地名と同じ名前が付いていることに何かの縁を感じています。

私たちはホオズキの生産を拡大することで、増え続ける耕作放棄地に歯止めをかけ、丹波市の切り花生産の振興に寄与したいと考えています。また、ゆくゆくはホオズキを黒豆や小豆、栗に続く丹波市の特産品にしたいとも考えています。

今年度は、ホオズキの栽培技術向上を目的として「丹波ホオズキ研究会」を設立し、丹波農業改良普及センターとともに定期的にほ場巡回を行っています。他の生産者の状況を確認しながら、情報交換や栽培技術の検討を進めています。

現在、ホオズキの新規栽培者も募集しており、「ホオズキを作りたい!」という方はぜひ、丹波農業改良普及センター（野喜（のぎ）普及指導員 TEL:0795-73-3806）までご連絡をお願いいたします。



[丹波ホオズキ研究会]
(左上から細尾英司さん・山本代表・野喜普及指導員
村上良之さん・浅妻普及指導員)



[赤く色づいているホオズキ]



[ほ場巡回の様子]

発行：丹波市農業委員会 編集：情報提供検討委員会

委員長 三村 俊一
委員 徳田 悦郎
委員 細見 滋樹

副委員長 村上 良之
委員 泉山 数年
委員 吉見 茂

委員 安達 謙藏
委員 田中 喜義

